

第9回

百済文化国際シンポジウム

日時：平成28年12月17日(土) 9:30～17:00 (受付は9:00～)

場所：帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパス 1号館 1301 教室

日韓両国が長い歴史の中で行ってきた文化交流をそのフィールドにして、特に古代日本と密接な関係にあった百済とその文化に注目して、過去から未来へと繋がる日韓の相互理解と友好的な関係の構築と維持について模索し、再認識することを目的に第9回百済文化国際シンポジウムを開催します。

また、会場校が設置する帝塚山大学附属博物館では本シンポジウムに因む企画展示「百済の瓦」を同時開催します。

【プログラム】

午前の部 9時30分から11時40分まで

- ・開会挨拶 (帝塚山大学・学長 岩井 洋)
- ・講演 「慶州月城からみた百済と新羅、そして日本との瓦交流」(国立慶州文化財研究所・主務官 梁 淙鉉)
- ・研究発表 「古代百済・日本の航路と加唐島」(公州大学校・教授 尹 龍嫻)
「日本の古代山城研究の諸問題」(公州大学校・教授 徐 程錫)

午後の部 13時10分から17時まで

- ・挨拶 (奈良教育大学・学長 加藤 久雄)
- ・研究発表 「百済文化・日本文化の融合 - 心の価値観を遺跡・瓦にみる -」(帝塚山大学・考古学研究所特別研究員 甲斐 弓子)
「3Dデータを用いた百済期瓦の観察」(奈良教育大学・大学院生 中屋 菜緒)
「武蔵国分寺の朝鮮半島系瓦」(東京学芸大学・大学院生 矢内 雅之)
「日本における古墳と朝鮮半島との関係 - 獣面人身十二支像を中心に -」(奈良教育大学・大学院生 横井 まどか)
「百済の鋤に関する考察」(京都大学・研究生 李 祥源)
「大和片岡地域南部における百済文化の様相」(帝塚山大学・大学院生 西垣 遼)
- ・閉会挨拶 (公州大学校・総長 金 熙洙)

聴講無料
要申込み

【申込方法】

聴講を希望される方は、氏名、ふりがな、所属、電話番号を記載いただき、下記のいずれかの方法によりお申し込みください。定員を超えない限り、申込の受付完了や受講許可の連絡はいたしません。

<はがきの場合>

宛先 〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学企画連携課 百済文化国際シンポジウム申込担当

<メールの場合>

送信先 soumuka@nara-edu.ac.jp

件名に「百済文化国際シンポジウム申込み」と記載してください。

【申込締切】12月12日(月)

【定員】定員150名(先着順)

【交通・アクセス】

- ・近鉄奈良線「東生駒」駅より徒歩20分。
- ・近鉄奈良線「東生駒」駅より奈良交通バス75系統「帝塚山住宅」行きで約5分、バス停「東生駒一丁目東(木幸スポーツ前)」で下車、進行方向右手徒歩5分。
- ・近鉄奈良線「東生駒」駅より奈良交通バス74系統「帝塚山住宅(帝塚山大学経由)」行きで約5分、大学構内にあるバス停「帝塚山大学」で下車。
- ・アクセス <http://www.tezukayama-u.ac.jp/access>

※来場者用の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【企画展示】

帝塚山大学附属博物館にて、百済に関する企画展示「百済の瓦」を開催します。また、企画展示「百済の瓦」と常設展示「瓦の来た道～東アジアの瓦の歴史～」で陳列する東アジア各地の古代瓦の展示解説を同館館長が行ないます。(12:30～12:45)

【その他】

- ・聴講、博物館の展示見学は無料です。
- ・講演等は日本語、韓国語で行ないます。(逐次通訳)
- ・会場での飲食はできません。昼食は大学構内の食堂をご利用ください。図書館前にコンビニエンスストアがあります。昼食を持参される方は、構内の食堂を昼食場所としてご利用ください。(食堂・コンビニエンスストアの営業時間：7時30分から15時まで)

主催：帝塚山大学、奈良教育大学、公州大学校(韓国) 共催：東京学芸大学

後援：奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、奈良新聞社

お問い合わせ先：奈良教育大学企画連携課(国際交流・地域連携担当)

TEL：0742-27-9108 FAX：0742-27-9141

E-MAIL：soumuka@nara-edu.ac.jp HP：http://www.nara-edu.ac.jp/event/other/1217_930_1.html